

令和5年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補** ・ 県単

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]		事業箇所	韮崎市旭町上条南割～南アルプス市有野	地区名	(主) 韮崎南アルプス中央線 (旭有野バイパス)	事業主体	山梨県
-----	------------------------	--	------	--------------------	-----	-----------------------------	------	-----

計画期間	当初計画	現計画	変更計画
	H20～H27	H20～R9	—
総事業費	2,500百万円	2,040百万円	—

(1) 事業の概要

①事業目的及び効果
 本路線は、韮崎市の国道20号交差点を起点とし、中央市の国道140号交差点に至る全長約34kmの主要地方道であるが、御勅使上橋や南アルプス市有野地内の区間は、幅員が狭くカーブが多いため通行に支障をきたしており、地域の住環境に悪影響を与えている。
 周辺には、社会福祉村施設や工業団地が点在しており、白根ICや南アルプスIC方面からこれらの施設への利便性やアクセス性が課題となっている。また、白根源小学校に通学する児童の脇を車両が走行し、交通事故の危険があることから、早急な道路整備が望まれている。

□主要目標 ○市町村中心地、大規模拠点施設へのアクセス向上
 道路改良率 52.0% < 64% 未滿※
 混雑度走行速度 20km/h < 30km/h 以下※
 ※評価基準値

□副次目標 ○歩行者等の安全性の確保
 □副次効果 ○緊急時の避難・救助機能の確保

②事業概要
 計画延長：L=1,200m W=6.5(13.0) m

③全体計画

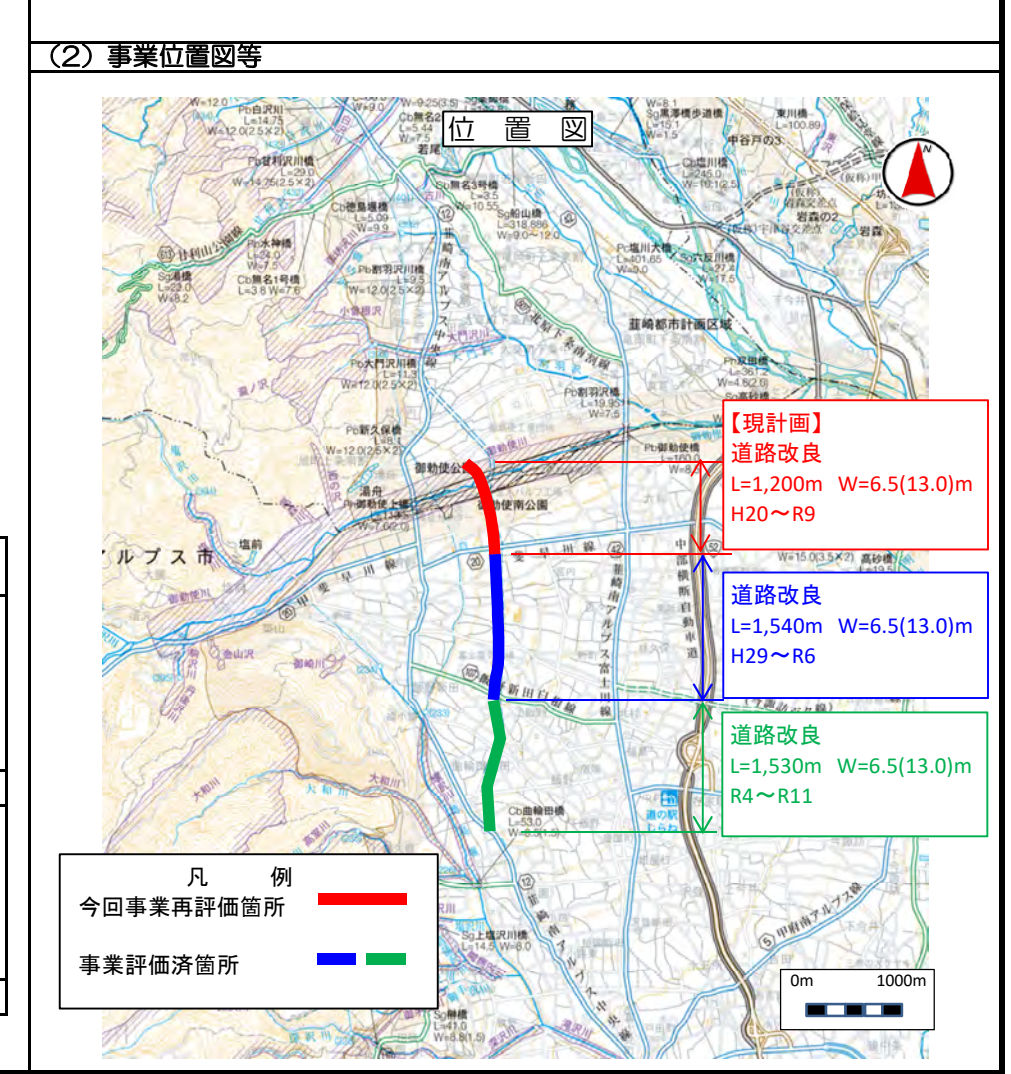
		令和4年度まで	令和5年度 (評価実施年度)	令和6年度以降
現計画	工事内容	測量設計 用地取得・補償	用地取得・補償 道路改良工事	用地取得・補償 道路改良工事
	事業費	700 百万円	330 百万円	1,010 百万円
変更計画	工事内容	測量設計 用地取得・補償	用地取得・補償 道路改良工事 L=200m	用地取得・補償 道路改良工事 L=1,000m 橋梁工 一式
	事業費	483 百万円	236 百万円	1,321 百万円

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

④特記事項 (関連事業概要等)
 (北新田交差点～飯野一区交差点) H29～R6 C=850百万円 L=1,540m W=6.5(13.0)m
 (飯野一区交差点～曲輪田) R4～R11 C=900百万円 L=1,530m W=6.5(13.0)m

(2) 事業位置図等

⑤これまでの評価状況 (平成30年度再評価)
 (平成30年度再評価)
 この事業は、主要地方道韮崎南アルプス中央線のうち韮崎市上条南割から南アルプス市有野地内の沿道に人家が密集している区間においてバイパス整備を行うものである。計画内容及び工期の変更を行った上で継続。



2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

南アルプス市飯野地域より要望あり。

②産業・経済情勢

本路線の交通量は、平成17年度5,743台/12hであったが、平成27年度は6,094台/12hとなり、年々増加傾向にある。

③国等の方針

なし

④上位計画・関連事業計画等

- ・「山梨県総合計画」（令和3年改定）
- ・「山梨県強靱化計画」（令和2年3月改定）
- ・「山梨県社会資本整備重点計画－第四次－」（令和3年3月改定）
- ・「道路の整備に関するプログラム」（令和4年3月改定）

⑤自然環境条件等

なし

⑥その他

なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項目	着手時点	再評価時点	変更計画時点	
総事業費	2,500百万円	2,040百万円	2,040百万円	
工期	H20~H27	H20~R9	H20~R9	
評価基準年	H19	H30	R5	
費用	2,123百万円	1,679百万円	1,982百万円	
	建設費	1,953百万円	1,587百万円	1,871百万円
	維持管理費	170百万円	92百万円	111百万円
	その他()	百万円	百万円	百万円
便益	4,665百万円	2,665百万円	5,001百万円	
	走行時間短縮	4,213百万円	2,498百万円	4,811百万円
	走行経費減少	411百万円	102百万円	87百万円
	交通事故減少	41百万円	19百万円	32百万円
	その他※	百万円	46百万円	71百万円
B/C	2.2	1.6	2.5	

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益

（3）これまでの計画変更等の概要

（平成27年度変更内容）

地元調整に時間を要したため、事業期間の見直しを行った。

- ・完成年度 平成27年 → 平成30年

（平成30年度再評価）

地元調整に時間を要したため、事業期間の見直しを行った。また、整備効果の早期発現のため計画区間を分割した。

- ・完成年度 平成30年 → 令和9年
- ・計画区間 L=2,000m→L=1,200m
- ・事業費 2,500百万円→2,040百万円

評価シート（2）

（4）事業進捗状況及び見込み

①進捗率
別表のとおり。
R5年度進捗率（現計画）50.5%→（実績）35.2%→（変更計画）35.2%

②進捗率実績が計画と相違している理由
御勅使川の右岸側から、北新田交差点付近の用地交渉に時間を要している。
筆界未定地の解消に時間を要したため。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
合計	百万円	

④事業期間の変更理由及び進捗予定
事業期間の変更なし

⑤今後の事業執行における留意点
用地を早期に取得し、変更計画に基づき工事発注を行い事業進捗を図る。

（5）環境負荷等への配慮
なし

（6）コスト縮減の可能性
なし

（7）代替案立案の可能性
なし

（8）所管部の今後の方針 継続・**見直し継続**・その他（ ）
（理由）
白根ICや南アルプスICから社会福祉村施設や工業団地へのアクセス性の向上が図れるとともに、歩行者はもとより、通行車両の安全確保を行う上で必要な工区であることから、変更計画に基づき令和9年度の完成を予定している。

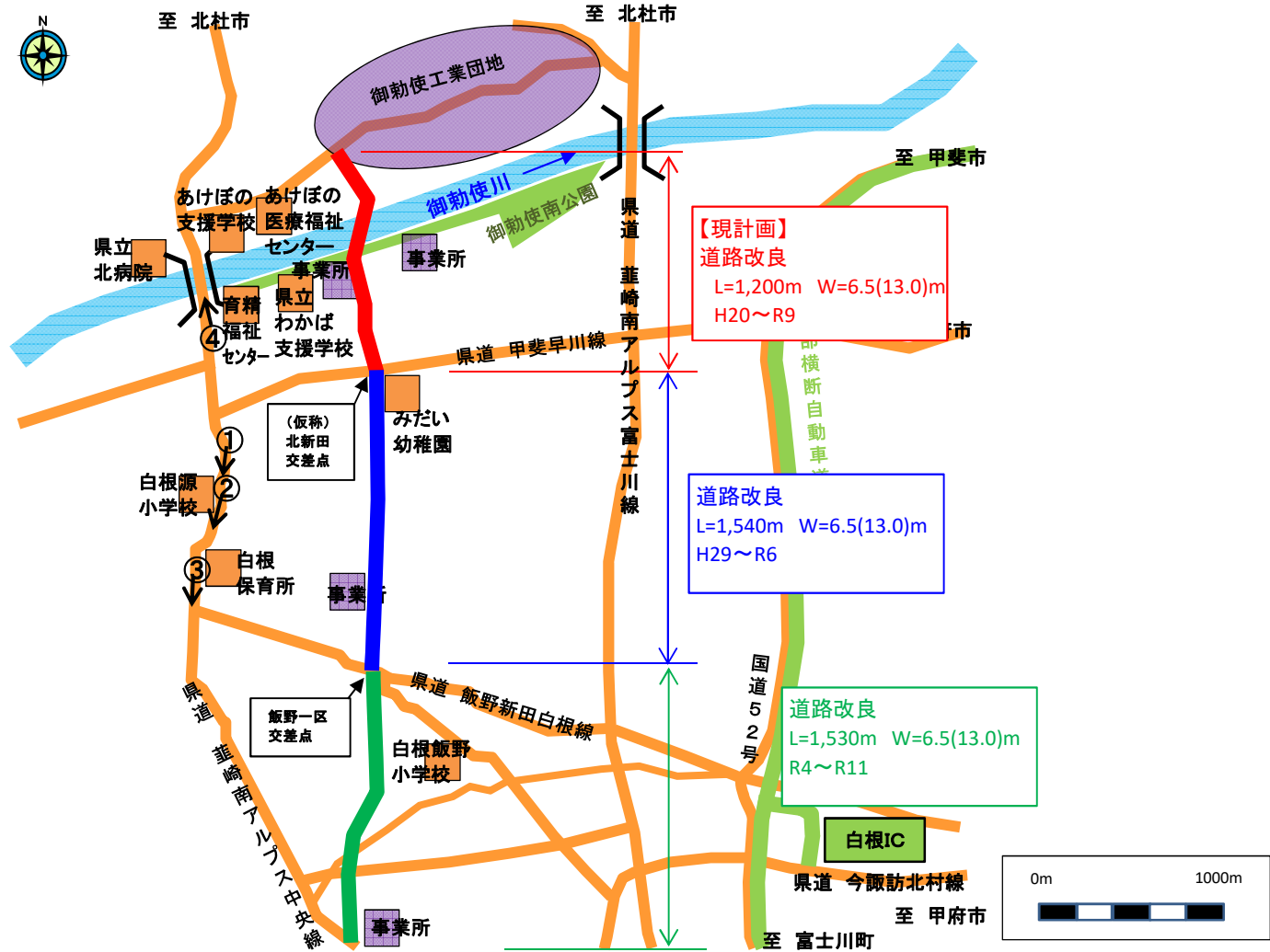
〇別表-進捗率（事業費ベース）
算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100 単位：%

年度	*H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
現	計画	0.7	0.7	1.7	1.7	3.1	6.1	7.0	7.1	7.1	13.0	17.9	26.3	30.4	34.3	50.5	64.2	85.3	97.5	100.0
	実績	0.7	0.7	1.7	1.7	3.1	6.1	7.0	7.1	7.1	7.5	8.2	13.2	14.5	18.1	23.7	35.2			
変更計画																35.2	55.4	70.6	85.3	100.0

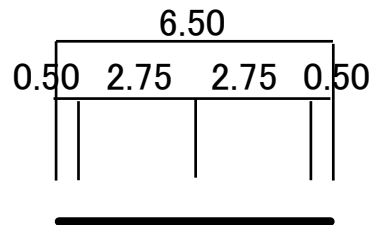
*事業着手年度又は評価年度
*R5年度の実績は見込み

3. 添付資料シート (1)

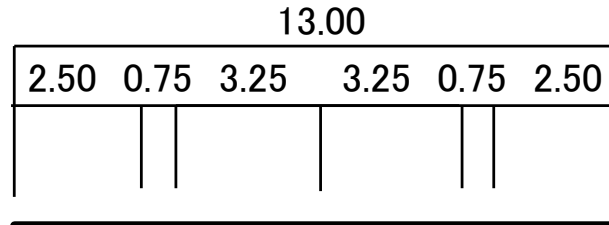
平面図



整備前



整備後



3. 添付資料シート (2)



①幅員狭小状況



③幅員狭小状況



②幅員狭小状況・通学状況



④幅員狭小状況

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H20	14,351	測量設計	0.7%
H21	0	測量設計	0.7%
H22	20,000	測量設計	1.7%
H23	0	測量設計	1.7%
H24	28,094	測量設計	3.1%
H25	62,245	測量設計	6.1%
H26	18,503	測量設計	7.0%
H27	2,567	測量設計	7.1%
H28	0	測量設計	7.1%
H29	7,385	測量設計	7.5%
H30	14,012	測量設計	8.2%
H31	101,718	測量設計	13.2%
R2	26,688	測量設計	14.5%
R3	73,901	測量設計、用地・補償	18.1%
R4	113,500	測量設計、用地・補償	23.7%
R5	236,000	用地・補償、道路改良工	35.2%
R6	411,300	用地・補償、道路改良工、橋梁工	55.4%
R7	310,000	用地・補償、道路改良工、橋梁工	70.6%
R8	300,000	用地・補償、道路改良工、橋梁工	85.3%
R9	299,736	用地・補償、道路改良工、橋梁工	100.0%
合計	2,040,000		